

様式第22号（第5条関係）

令和 5 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市高島5039-1
協議会名	高島まちづくり協議会
協議会長名	会長 妹尾利雄

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）実績報告書

令和 4 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 39 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 交付金決算額 1,481,000 円

〔内訳〕

（単位：円）

交付決定額 ①	交付金決算額	
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③
1,481,000	1,481,000	0

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	回漕店運営事業
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	島民の生活手段である定期船航路を維持する為、定期船発着の安全管理、切符販売や荷物の集荷、乗降客の安全管理を行う回漕店業務を実施する。
【効果】	定期船発着時の安全管理、切符販売や荷物の集荷、乗降客が安全に利用できるよう業務に当たり、島民の生活基盤である定期船航路を維持できる。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 (計画期間 1 年中 年目)

3 実施場所

高島回漕店及び高島港

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 18149 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 11 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 18138 人（イ）
 ○団体： （団体名） 高島自治会 ， （団体名）
 （団体名） ， （団体名）

5 実施内容

定期船航路の運営に必要な切符販売、荷物、メール便の集荷や乗降客の安全確保、また回漕店内外、トイレの清掃に努める

6 決算額

1,572,000 円（うち交付金分 972,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	海上の荒れている時などの乗降時に安心して利用できています。
【課題】	宅急便を含め全ての荷物は回漕店止まりです。高齢化が進む中スムーズに自宅に届く解決策考えて行けたらと思います

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	回漕店運営事業

【収入の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 972,000	972,000	0	当該年度分
その他収入	600,000	600,000	0	
	600,000	600,000	0	(株)三洋汽船
			0	
			0	
計	1,572,000	1,572,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
賃金	1,572,000	1,572,000	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	1,572,000	1,572,000	0	決算額のうち市交付金分 ② 972,000

市交付金の余剰金 ①-② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 回漕店運営事業

費目 賃金

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1		4	30	回漕店業務従事者	4月分三洋汽船より	50,000	50,000
2		5	31	〃	5月分三洋汽船より	50,000	100,000
3		6	30	〃	6月分三洋汽船含む	293,000	393,000
4		7	31	〃	7月分三洋汽船含む	131,000	524,000
5		8	31	〃	8月分三洋汽船含む	131,000	655,000
6		9	30	〃	9月分三洋汽船含む	131,000	786,000
7		10	31	〃	10月分三洋汽船含む	131,000	917,000
8		12	16	〃	11月分三洋汽船含む	131,000	1,048,000
9		12	29	〃	12月分三洋汽船含む	131,000	1,179,000
10		1	30	〃	1月分三洋汽船含む	131,000	1,310,000
11		2	28	〃	2月分三洋汽船含む	131,000	1,441,000
12		3	31	〃	3月分三洋汽船含む	131,000	1,572,000
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						1,572,000	

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 1

協議会名	高島まちづくり協議会
活動名	回漕店運営事業

活動目的	島民の生活手段である定期船航路を維持する為、定期船発着の安全管理、切符販売や荷物の集荷、乗降客の安全管理を行う回漕店業務を実施する。
実施内容	定期船航路の運営に必要な切符販売、荷物、メール便の集荷や乗降客の安全確保、また回漕店内外、トイレの清掃に努める

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域の人みんなで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	2
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 海上の荒れている時などの乗降時に安心して利用できています。	現状と課題 宅急便を含め全ての荷物は回漕店止まりです。高齢化が進む中スムーズに自宅に届く解決策考えて行けたらと思います
--	--

今後の活動の方向性・改善策

回漕店は島の玄関口でも有ります。島民はもちろん利用される方が安心して利用できるよう継続して行きたいと思います。宅急便、メール便等回漕店止まりなので、高齢者宅に届く対策を考えて行けたらと思います。

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	婆一ちやるショップ運営事業
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	島には商店がないため、高齢化が進む中、高齢者が安心して暮らせる島づくりを目指し、笠岡商店街から商品を仕入れ島民の力で商店を開く。また、燃料（灯油・ガソリン等）は危険物の為定期便に乗せることは出来ません。その為地元の方の協力で運搬のお願いをする。
【効果】	食料品、生活用品など必要な商品が島で購入出来ることで、安心して島での生活を送ることが出来る。コロナ禍ではありますが、購入時に集まり、他愛のない事を話すそんな時間も必要です。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 （計画期間 1 年中 年目）

3 実施場所

高島回漕店

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 136 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 4 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 132 人（イ）
 ○団体： （団体名） 愛育委員会 ， （団体名） 高島自治会
 （団体名） ， （団体名）

5 実施内容

生活用品は毎月2回、回漕店でお店を開きます。毎回、利用者の注文の品を取りまとめ笠岡商店街に注文、開店日に仕分けをし、利用者を取りに来られます。また、体調の悪い方へは配達をしています。灯油、ガソリン等の燃料は危険物の為定期船での運搬が出来ないので地元の方に外浦港から高島自治会倉庫までの運搬をお願いしています。

6 決算額

149,000 円（うち交付金分 149,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	コロナ禍ではありますが少しの時間会話を楽しまれて帰られます、安否確認にも繋がっています。大きなものや重い商品が地元で購入できる、とてもありがたいです。次回何を注文しようか？食べることは楽しみのひとつでもあります。
【課題】	利用されていない方への呼びかけやボランティアの輪を広げていく。

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	婆一ちやるショップ運営事業

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 149,000	149,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	149,000	149,000	0	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	5,000	5,000	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
運賃	96,000	96,000	0	〃
運搬費	48,000	48,000	0	〃
			0	
			0	
計	149,000	149,000	0	決算額のうち市交付金分 ② 149,000

市交付金の余剰金 ①-② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分	活動交付金
活動名	婆一ちやるショップ運営事業
費目	報償費
No.	1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	3	31	事務員	商品代支払の為	5,000	5,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						5,000	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 婆一ちやるショップ運営事業

費目 運賃

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	6	28	三洋汽船	婆一ちやるショップ運賃(4~6月分) 6回	24,000	24,000
2		7	6	〃	婆一ちやるショップ運賃	4,000	28,000
3			20	〃	〃	4,000	32,000
4		8	3	〃	〃	4,000	36,000
5			18	〃	〃	4,000	40,000
6		9	7	〃	〃	4,000	44,000
7			21	〃	〃	4,000	48,000
8		10	5	〃	〃	4,000	52,000
9			19	〃	〃	4,000	56,000
10		11	2	〃	〃	4,000	60,000
11			16	〃	〃	4,000	64,000
12		12	7	〃	〃	4,000	68,000
13			21	〃	〃	4,000	72,000
14	5	1	6	〃	〃	4,000	76,000
15			18	〃	〃	4,000	80,000
16		2	1	〃	〃	4,000	84,000
17			15	〃	〃	4,000	88,000
18		3	1	〃	〃	4,000	92,000
19			15	〃	〃	4,000	96,000
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						96,000	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 婆一ちやるショップ運営事業

費目 運搬費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	3	30	一力水産	灯油等運搬費 6回×8,000円	48,000	48,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						48,000	

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 2

協議会名	高島まちづくり協議会
活動名	婆一ちやるショップ運営事業

活動目的	島には商店がないため、高齢化が進む中、高齢者が安心して暮らせる島づくりを目指し、笠岡商店街から商品を仕入れ島民の力で商店を開く。また、燃料（灯油・ガソリン等）は危険物の為定期便に乗せることは出来ません。その為地元の方の協力で運搬をお願いをする。
実施内容	生活用品は毎月2回、回漕店でお店を開きます。毎回、利用者の注文の品を取りまとめ笠岡商店街に注文、開店日に仕分けをし、利用者が取りに来られます。また、体調の悪い方へは配達をしています。灯油、ガソリン等の燃料は危険物の為定期船での運搬が出来ないので地元の方に外浦港から高島自治会倉庫までの運搬をお願いしています。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域の人みんなで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 コロナ禍ではありますが少しの時間会話を楽しまれて帰られます、安否確認にも繋がっています。大きなものや重い商品が地元で購入できる、とてもありがたいです。次回何を注文しようか？食べることは楽しみのひとつでもあります。	現状と課題 利用されていない方への呼びかけやボランティアの輪を広げていく。
--	---

今後の活動の方向性・改善策

島での暮らしが困難で島を離れる方も居られますが、安心して利用できる事業のひとつです。島には商店が無いので笠岡市内の商店より月2回商品を仕入れ、注文者(高齢者・障がい者)の方が各自取りに来ています。グリスロでの配達もしています。毎月の予定表でお知らせはしていますが、気兼ねなく利用できるよう声掛けも続けて行きます。灯油等の燃料は危険物扱いなので定期船に乗せることが出来ないのととても有難いです。

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	定期便減便対策事業
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	定期便減便で島民の利便性が失われるのを防ぐため、減便対策を行い島民・島外の人たちの生活を確保する。
【効果】	島民にとって必要不可欠な公共交通機関である離島航路が減便となりました。そのため減便対策を行うことにより島内外の人たちの安定的な生活が確保されていると思います。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 （計画期間 1 年中 年目）

3 実施場所

高島港、神島外浦港間

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 234 人（ア＋イ）

（内訳）企画運営に関わった人数： 3 人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）： 231 人（イ）

○団体： （団体名） 高島自治会

（団体名）

（団体名）

（団体名）

5 実施内容

地元で渡船業を行っている藪田渡船を利用し、高島、外浦間を（火・水・土・日）1日2便で運航。利用者される方は直接藪田渡船又はまちづくり協議会へ連絡を入れる。委託料とは別に乗船した方が200円支払う。

6 決算額

360,000 円（うち交付金分 360,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	島民利用はもちろんですが、観光客、民宿関係のかたの利用も多くなっています
【課題】	予算の関係上曜日が限定されての運行となります。利用状況を確認しながら検討していきたいと思いま

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	定期便減便対策事業

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 360,000	360,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	360,000	360,000	0	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
委託料	360,000	360,000	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	360,000	360,000	0	決算額のうち市交付金分 ② 360,000

市交付金の余剰金 ①-② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 定期便減便対策事業

費目 委託料

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	6	30	藪田渡船	4・5・6か月分	90,000	90,000
2		7	31	藪田渡船	7月分	30,000	120,000
3		8	31	藪田渡船	8月分	30,000	150,000
4		9	30	藪田渡船	9月分	30,000	180,000
5		10	31	藪田渡船	10月分	30,000	210,000
6		12	16	藪田渡船	11月分	30,000	240,000
7		12	30	藪田渡船	12月分	30,000	270,000
8	5	1	31	藪田渡船	1月分	30,000	300,000
9		2	28	藪田渡船	2月分	30,000	330,000
10		3	31	藪田渡船	3月分	30,000	360,000
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						360,000	

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 3

協議会名	高島まちづくり協議会
活動名	定期便減便対策事業

活動目的	定期便減便で島民の利便性が失われるのを防ぐため、減便対策を行い島民・島外の人たちの生活を確保する。
実施内容	地元で渡船業を行っている藪田渡船を利用し、高島、外浦間を（火・水・土・日）1日2便で運航。利用者される方は直接藪田渡船又はまちづくり協議会へ連絡を入れる。委託料とは別に乗船した方が200円支払う。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域の人々で共有することができたか。	3
	活動に参加する人々で話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	2
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題について人々で話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
島民利用はもちろんですが、観光客、民宿関係のかたの利用も多くなっています	予算の関係上曜日が限定されての運行となります。利用状況を確認しながら検討していきたいと思えます

今後の活動の方向性・改善策

運行予定日に電話予約して運行が決定されるため、利用者が1人で運行される場合もあり、「自分のためだけに運行させるのは申し訳ない」といった利用控えが起きる場合がある。運行予定を利用者間で共有出来れば、乗合する感覚で利用しやすくなり、結果として稼働率が向上すると考えられる。また、リアルタイムで運行情報が提供されることで、乗船忘れの防止が出来るものとする。